

## 「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

### まん延防止等重点措置の解除に伴って

9月10日付のお便りでお示した通り、教育活動においてももとに戻す部分が出てきますが、本校ではいきなり大きくではなく、「児童の様子や周辺の感染状況を見ながら、少しずつ戻していこう、必要な感染防止対策は続けていこう」というスタンスです。

目の前のこととしては、今回の解除に伴って25日に運動会が実施できる方向となり、ひとまずホッとしています（措置発令中には原則行事はできません）。しかし、これも今後の状況によっては大きく変更せざるを得ないこともあります。そうならないよう、御家庭での御協力を引き続きお願いいたします。なお今回の運動会においては、**半日開催、人数制限、観覧ルールの徹底**への御理解をお願いいたします。今蔓延しているデルタ株は、以前とは違い、小さい子や若者でも感染や重症化のリスクが高くなっております。そこで、人数制限を「**一家庭2名まで**」とさせていただきたいと思っております。また学年ブロックによる入れ替え、**観戦ルールの徹底**（観覧スペース、立ち入り禁止区域等）、**当日の来場者の健康チェックや入場者の確認**など、細かく定めますが、これらはすべて児童ならびに皆様の安全のため、その後の学校教育の円滑な実施のためです。ぜひ御理解ください。詳しくは、別紙「**秋季大運動会の御案内**」をご覧ください。

また、10月以降には修学旅行をはじめ校外学習もいくつか計画されています。これからも保護者の皆様の同意を得ながら進めていかなければならないものですので、御協力ください。加えて、感染した時やPCR検査などを受ける際のいち早いご連絡、感染の不安の残るような症状（発熱、せき、息苦しさなど）があるときの家族を含めた登校自粛（他の場合は相談・保護者判断）などにつきましても、引き続きお願いいたします。

### 校内オンライン授業

今回の措置に対して、本校では人数の多い高学年を中心に校内オンライン授業を進めました。二つの教室に分かれ、それぞれの人数を減らし密を防ぎながらの授業です。はじめての試みでしたが、思った以上にスムーズでした。徐々に一斉授業に戻していきませんが、万が一の場合に活用できるように、下級生も少しずつクロームブックを使って学んでいきます。画像は4年1組と6年2組の様子です。



## 私は今日、林檎の種をまく

子供たちにいろいろな自由を楽しませることは、とても大切なことです。また、子供たちに、まだ気づいていないことや見つけられていないこと、夢や可能性に気づかせていくということは、大人の大きな責務だと思います。大人の考える「夢」や「希望」や「目標」をもたせるのではなく、自分の心から湧き出る自分なりの「夢」や「希望」や「目標」に気づかせたいものです。私たち大人は、子どもたちの無限の可能性を心から信じるとともに、大切に育てていかなければならないですね。

「必ずプロ野球選手になると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか西武ライオンズです。ドラフト一位で契約金は一億円以上が目標です。僕が自信のあるのは、投手か打撃です。」これは、日米両リーグで活躍したイチロー選手の小学校時代の卒業作文の一部として有名な言葉です。彼は、夢に向かい、挑戦し、自分の目標を超える新たな未来を踏み出した人です。彼は、この頃から一日どれくらい練習をしなければならぬのかをしっかりと決め、ずっと実行していったそうです。イチロー選手は多くの人から尊敬されていますが、メジャーリーガーとなって活躍したからすごいのではなく、夢を持ち、その目標に向かって努力し続けたことが素晴らしいのではないのでしょうか。しかも、現役を退いた後も毎日トレーニングでその夢を続けているというのです。



子供たちの目指すゴールは一つでも、進み方は一人一人違ってよいと思います。自分の目標に向かって、少しずつ歩み続けることが大切になるのでしょうか。

ルーマニアの作家コンスタンチン・ゲオルギーの言葉に「もし、世界の終わりが明日だとしても、私は今日、林檎の種をまくだろう」というものがあります。子供を育てるということは、終わりがあるものではありません。常に一人一人を高みに導き続けなければなりません。それも、初めから予定通りに完成するものではないかもしれません。一つの種をまくという地道な作業を子供の成長のきっかけづくりと重ね合わせながら、根気強く続けることが子供を育てることの本質になるのだと思います。

私自身も「今日、林檎の種をまく」という気持ちをもう一度かみしめながら、314名の子供たちのために学校づくりに励んでいきたいと思えます。これからも、変わらぬ御理解と御支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



## 校長先生、絶好調!

夏休み後半から県内、全国とも新型コロナウイルス感染者が爆発的に増えました。二学期を前に不安はつのるばかり。さらに開始した後は毎日ドキドキ、ハラハラ。子供たちの安全やこれからの学校の進め方を考え始めると、夜もなかなか寝付けない日々が。そんな時でも百田小の子供たちは明るく、教室を回ると何人もの低学年児童が元気な声で「校長先生、絶好調!」と声をかけてくれます。心の中では「けっして元気ではないんだけど…」と思いつつも、笑顔で手を振り返します。やはり、子供たちの笑顔や元気さは宝物ですね。そんな子供たちに励まされ・・・これからも百田小児童のために頑張っていきます。お力添えをお願いします。

